



我孫子市

Abiko city

令和7年4月22日
定例記者会見資料

めるへん文庫ワークショップ「めるへん学校」

「めるへん文庫事業」は、文学と深いつながりがある我孫子の地で、未来を担う子どもたちが創作に親しみながら、豊かな感性などを育むことを目的に、平成14年に創設されました。

ワークショップでは、外部講師を招き、「いつ」「どこで」「誰が」をテーマに、物語の書き方や創造する楽しさを伝えます。



めるへん学校

日 時：令和7年6月8日（日）午後1時～3時（開場午後0時30分）

場 所：アビスタ

講 師：みお ちづるさん（児童文学作家）

対 象：市内在住・在学の小学3～6年生

申込者数：36人（申込期間5月3日（祝）9時～25日（日））

費 用：無料

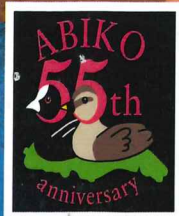
【問い合わせ】

我孫子市教育委員会生涯学習部

文化・スポーツ課

担当：加藤、斉藤

電話：04-7185-1601



2025

6/8 日

めるへん文庫

ワークショップ

めるへん学校

創作活動を通し、創造する楽しさや素晴らしさを一緒に体験してみませんか？

物語を書いてみよう

～「いつ」「どこ」「だれ」を考えて～

■対象 小学3年生から6年生まで
※市内在住・在学

■定員 36名(先着)

■費用 無料

■持ち物 筆記用具

■時間 13時から15時
(受付開始12時30分)

■場所 アビスタ ホール

講師

児童文学作家

みお ちづる さん

「山のうらがわの冒険」
(あかね書房) など



申込について

期間

2025年5月3日(土・祝)

9時から

2025年5月25日(日)

方法

事前 LINE 申請



物語の生まれるまち

あびこ

主催：我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課

☎04-7185-1601

我孫子市めるへん文庫

「我孫子市めるへん文庫」は市内在住の作家、古登正子（こと しょうこ）さん
のご寄付をもとに『21世紀の子どもたちへの贈り物』として平成13年（2001年）に
誕生しました。太平洋戦争を経験し、苦しい時代を生き抜いてこられた古登さんは、
12歳の夏、焼け野原の東京の闇市（やみいち）で見つけた古本に「文学賞」の文字を見
つけ、「いつか大人になったら童話賞を作ってみよう」と自分でも途方もないことを

考えたそうです。その後の長い長い年月を経て古登さん
の「夢」が現実となり創設された「めるへん文庫」で
は、毎年、全国の小・中学生、高校生からオリジナルの
童話や小説を募集し、入賞作品を一冊の本にして刊行。
これまでに22冊もの夢あふれる作品集が生まれました。

文学と深いつながりのある我孫子の地で、我孫子市の
未来を担う子ども達に、創作に親しみながら、豊かな想
像力をさらに伸ばすことができるよう、この事業を設立
しました。



販売場所

市役所本庁舎1階 行政資料室
水道局4階 文化・スポーツ課

価格

1冊 500円

※市民図書館にて貸出も行っています。

